

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年3月1日

保護者等数(児童数)：16名 回収数：16名 割合：100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動スペースが十分に確保されているか	17	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	1	0	1		
	3 生活空間は、障がい特性に応じて子どもに視覚的に分かりやすい工夫や配慮をしたり、パーティションや本棚等を用いて落ち着ける空間を設定したりしているか。	17	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	0	0	0		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや発達状況を客観的に分析された上で、面談時に支援目標について説明している児童発達支援計画を提示しているか	17	0	0	0		
	6 上記児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの考えを基盤としています。その提供内容は、「子ども」「家族」「地域」の支援範囲から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	0	0	1		
	7 面談時に提示した児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	0	0	1	聞いたかもしれないが覚えていない	送迎時等にできるだけ丁寧に説明していくよう努める
	8 療育活動は、一定の目標とねらいを持って設定され、子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施され、固定化しないよう工夫されているか	16	0	0	1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	0	0	9		
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について2月・3月の施設・契約説明会時に丁寧な説明がなされたか	11	1	0	5		契約の時や毎月の請求の際に説明していくよう努める
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか *当法人はガイドラインに基づく児童発達支援の方針と目標を設定しています	16	0	0	1		
	12 保護者が子どもの障がい特性を理解し、それを踏まえた子どもの気持ちの理解、褒め方、関わり方、適切な行動の獲得のための学びを深め、就学など知識を獲得する家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)が行われているか ※茶話会、勉強会、就学説明会等の機会	14	1	0	2		親子療育を開始して活動の意図や環境の構造化等について説明しているの、伝えられる機会を増やせるよう努める
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16	1	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して個別面談や、育児に関する助言・相談等の支援が行われているか	14	2	0	1		
	15 福山市内の父母の会の活動の支援、情報提供、保護者会(茶話会)等の開催等により保護者同士の連携・親睦を深め合う会が支援されているか	8	1	1	7		情報提供を今後できるだけしていく

守	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	1	0	0		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか ※当法人では、連絡帳や送迎時、電話対応にて子どもの様子について情報交換させてもらっている	17	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか *当法人HPのブログ欄に行事や活動を掲載している。よければ子どもたちの様子をご覧ください。	13	0	0	4		福山地区の当法人の活動や自己評価をHPに毎週載せているので保護者の方に伝えていくよう努める
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15	1	0	1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 ※当法人は、上記マニュアルを完備・訓練し、必要に応じた対応を取れるように備えている。	16	0	0	1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、防災、救出、その他必要な訓練が行われているか *当法人では、避難訓練と防災訓練（地震、津波想定）、およびAED研修を実施しています	17	0	0	0		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	17	0	0	0		とても楽しみに通所しています。
	23	事業所の支援に満足しているか	16	1	0	0		様々なイベントがあり、体験、経験を増やす機会を提供して下さりありがとうございます。支援内容はとてもいいです。送迎があると回数をもっと増やせます。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。